



## 築地井手界限

所在 菊池市(付近)  
施主等 亘区、築地区

部門賞  
緑と水の景観賞



「築地井手」は、加藤清正によって開かれたと伝わる用水路であり、生活用水や防火用水、平野をうるおす役目など時代に応じ様々なシーンで利用され、今もなお大切に利用されている。

澄んだ水の色がとても印象的で、水底の水草がリズミカルになびくのがはっきりとみえる。周辺には県指定文化財を持つ東福寺や菊池能運の墓などがあり、歴史的情緒もあいまって、ゆったりと井手沿いを歩き楽しむことができる。

周辺の清掃や整備も行き届いており、近隣の方々が絶えず手を加えていることが伺える。沿岸にはホタルが生息できるような居場所をいくつも設けてあったり、井手をまたぎ趣のある憩いの場を設置したりと景観を向上させる意気込みが多く見受けられる。

また景観とともに、あだけの長い水路に緩やかに水が流れる当時の高い技術もご覧いただきたい。(審査委員 太田 リカ)



## 十万山公園

所在 天草市本渡町本渡1414番地1  
施主等 天草市

奨励賞



昭和34年に公園として開設され、小学校の遠足や朝夕の散歩など、生活の中で親まれてきた。標高239mの山頂付近にある展望所からは旧本渡市街地を一望でき、有明海や不知火海、遠くに雲仙普賢岳や熊本市の金峰山を望む。ここで多くの若者が未来に想いを馳せ、夢を育んだ。近年、公園開設から植栽した樹木が生い茂ったことによる眺望の阻害や、隣接した民有林の荒廃などの課題が表れた。平成24年度から地域住民などのボランティアによる清掃、河津桜・ソメイヨシノ・モミジ・アジサイといった花木の植樹、景観保全のための樹木伐採などによる景観回復など次世代に引き継ぐための取り組みを続けている。県外で暮らす出身者からも、景観を守るために協力の声が寄せられる。今後も故郷の大切な景観を自分たちの手で守る姿勢と想いが引き継がれ、地域に広がることを願う。(審査委員 吉村 尚子)

